

「いじめ防止プログラム」 指導者養成講座

主催：神奈川県教育委員会／特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンター

講師：デビッド・J・マシューズ（ONE-T 代表）／瀧田信之（NPO 法人 湘南DVサポートセンター理事長）

「いじめ防止プログラム」の内容を知りたい。学級運営の参考にしたい。ファシリテーターになりたいという方、ぜひご参加ください。

「いじめ防止プログラム指導者養成講座」は、文部科学省委託「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究として、2011（平成23）年1月から始まりました。

今年度は、神奈川県との協働事業として、アメリカからデビッド・マシューズさんをお招きし、著書の中から、10代のいじめ被害者、加害者のためのアクティビティを紹介していただきます。

* 詳細については、当センターにお問い合わせください。



デビッド・マシューズ（David J. Mathews, PsyD, LICSW）

ONE-T（ワン・ティー）代表（米国ミネソタ州ミネアポリス市）

いじめ、ドメスティック・バイオレンスなどの暴力防止に携わり30年。刑務所の保護観察プログラム、地域の暴力対応プログラム、家族統合プログラムなど数多くのプログラムを開発。児童虐待防止団体などの役員を務めながら、企業、行政機関向けの研修を行っている。

元ドメスティック・アブ्यूズ・プロジェクト（DAP=Domestic Abuse Project）カウンセリング部長。DAPのカウンセリング責任者として女性、

男性、子ども、ティーン向けのカウンセリング、セラピーを全て統括してきた。

【著書】

101 Support Group Activities for Teenagers Who Are Targets of Bullies（いじめ被害者のための101のアクティビティ）

101 Support Group Activities for Teenagers Who Bully（いじめ加害者のための101のアクティビティ）

平成 25 年

2/9(土)

- 「いじめ防止プログラム」、「スクール・バディ活動」について
- アメリカでの実践を紹介・「いじめ被害者のためのアクティビティ」を体験

平成 25 年

2/10(日)

- 被害者・加害者・傍観者の気持ち。自分も相手も大切にすることについて
- アメリカでの実践を紹介・「いじめ加害者のためのアクティビティ」を体験

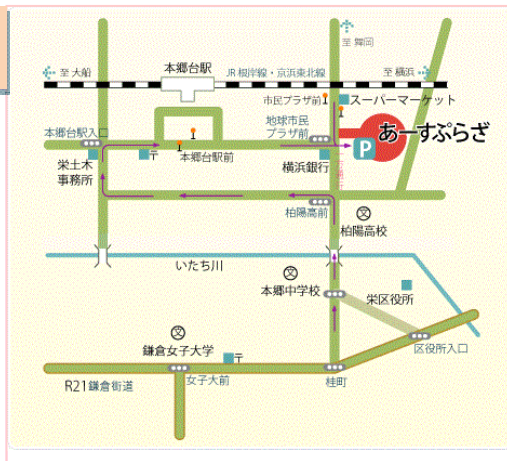
平成 25 年

2/11(祝月)

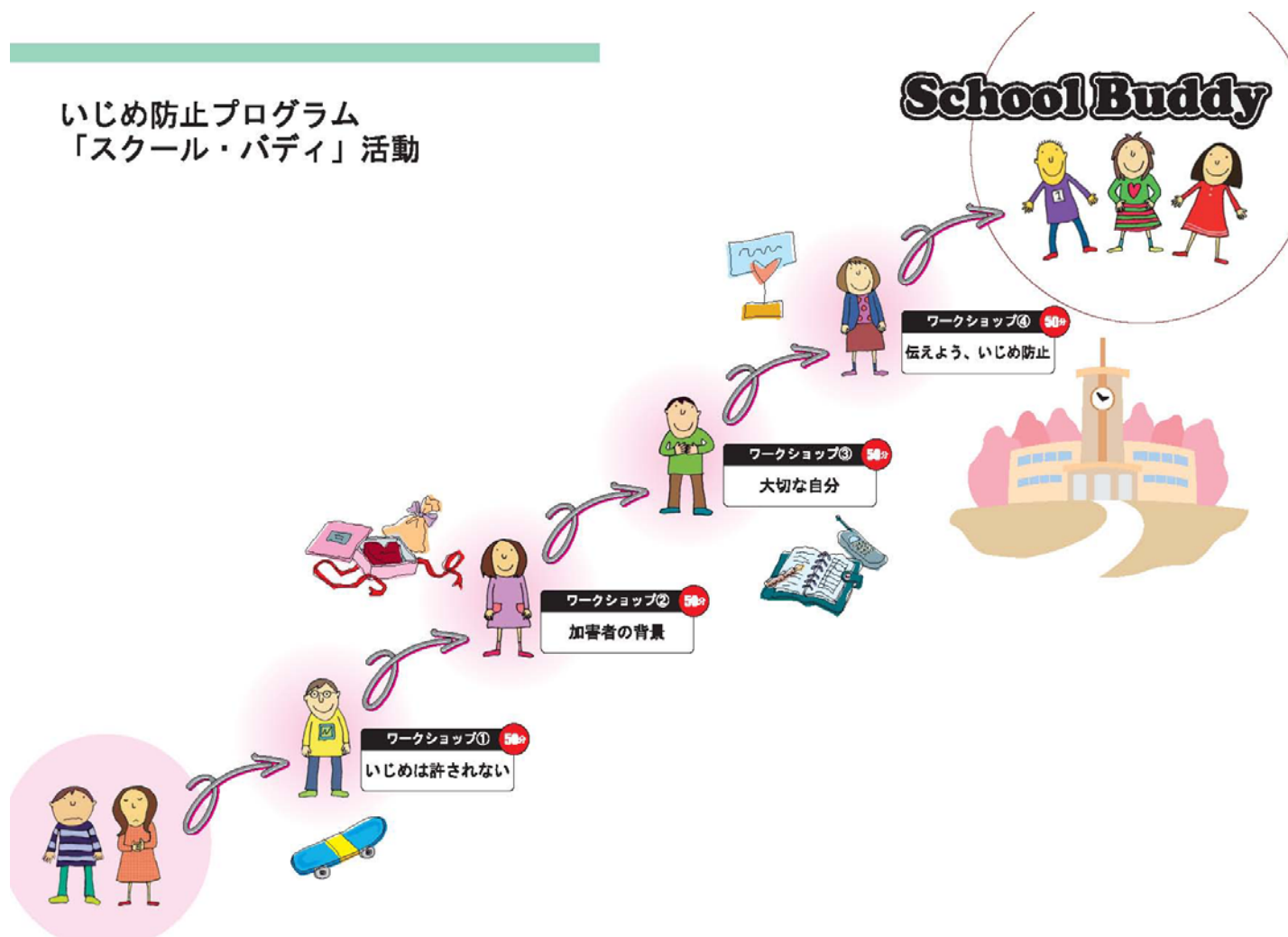
- 子どもに自尊心を持たせるために何ができるか？
- アメリカでの実践を紹介・「いじめに対する予防策と善後策」

「いじめ防止プログラム」指導者養成講座

- 時間：10:00～16:30(9:30 受付開始)
- 対象：公立小中学校の教員、その他子どもの教育に関心のある人
- 募集人数：30名
- 参加費：無料
- 会場：神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ) 多目的室
横浜市栄区小菅ケ谷 1-2-1 TEL:045-896-2121
- 申し込み方法：お名前、ご所属、電話番号、FAX 番号、住所、E メールアドレスをご記入の上、FAX または E メールで当センターへお申込みください。



いじめ防止プログラム 「スクール・バディ」活動



無関心な傍観者をなくすことが、いじめ対策の効果的なアプローチの一つだと言われています。

「いじめ防止プログラム」は、暴力を使わずに対立を克服する方法や、自分も他人も大切にすることが暴力防止につながることを、子どもたちに伝えるプログラムです。全クラス4回のワークショップを実施後、有志の生徒を募って「スクール・バディ」活動へとつないでいきます。「スクール・バディ」とは、生徒同士による支え合いのシステムです。バディになった生徒は、いじめを未然に防ぐための様々な企画を考え、学校や地域に情報を発信していきます。

特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンター
〒251-0044 神奈川県藤沢市辻堂太平台 2-2-3-102
TEL 090-4430-1836 FAX 0466-36-6616

E-MAIL: tryton@kodomo-support.org HP: <http://www.kodomo-support.org/>